

SCHOLARONE MANUSCRIPTS™

v4.20 リリースノート

以下は、ScholarOne Manuscripts の v4.20 でリリースを予定している機能です。本書は、それぞれの機能について、デフォルトの設定値および設定に必要な時間に関する情報を記載しています。ご不明な点は、プロダクトリーダーの Chris Heid (434.964.4040) までお問い合わせください。

このリリースには、すべての ScholarOne Manuscripts ユーザーが直接影響を受ける機能強化や変更が含まれています。リリース前にユーザーに連絡し、影響を受ける可能性のある変更に備えられるようにしてください。その他の機能についてユーザーが新機能の恩恵を受けるためには、管理者や ScholarOne の担当者が機能を有効にする必要があります。

リリースの概略

このリリースの各機能のデフォルトの設定および値を以下に示します。いずれかのデフォルトを変更するには、ScholarOne Manuscripts サイトの [ヘルプ] リンクからケースを送信し、ScholarOne にご連絡ください。

機能	概略
ログインの変更	[ログイン] ページには、新しい UI 処理と操作性の改善が盛り込まれています。 必要なアクション: このアップデートではアクションは不要です。
[パスワードのリセット] プロセスの強化	[パスワードのリセット] プロセスの新しいページは、新しいデザインで、わかりやすい説明文と改善されたエラー検証を基に作成されています。ユーザーが新しいパスワードを作成する場合のパスワード要件の指示内容がわかりやすくなっています。 必要なアクション: このアップデートではアクションは不要です。
間隙ページの改善	ユーザーが E-Mail のディープリンクからサイトを訪問すると、新しいデザインを使用した画面が表示されます。これらの画面を「間隙」と呼びます。通常、これらの画面はユーザーが論文の査読依頼に応答するときに表示されます。 必要なアクション: このアップデートではアクションは不要です。
不完全なプロファイルを防止する新機能	ログイン後、プロファイルを更新する必要がある場合、アラートではなく新しい画面が表示されます。この画面には、プロファイルに必要なすべての変更の詳細が表示されます。 必要なアクション: このアップデートではアクションは不要です。

v4.20 リリースノート

機能	概略
操作性とデザインの拡張機能	<i>ScholarOne Manuscripts</i> v4.20 は、設定可能なサイト手順で使用する新しい HTML タグのアクティブ化などを含め、複数の操作性およびデザインの拡張機能を提供します。 必要なアクション: このアップデートではアクションは不要です。
中国でのサイト強化	ログインの前に、<i>ScholarOne Manuscripts</i> は、中国のユーザー向けに最適化された雑誌の Web サイトのバージョンに切り替えるオプションを提供します。 必要なアクション: このアップデートではアクションは不要です。
編集者向けの会話ツール	<i>ScholarOne Manuscripts</i> は、編集者や管理者に会話機能を提供し、これらの役割を持つユーザーが論文について臨時の会話を実行できるようにします。 必要なアクション: この機能は、設定により利用できます。
サポートされるブラウザ、オペレーティングシステムおよび国リストの更新	<i>ScholarOne Manuscripts</i> では、クライアントが使用するシステムタイプの変更により、サポートされるブラウザおよびオペレーティングシステムのリストが更新されています。国名と国コードは、国名および国コードの最新 ISO 3166 リストに合わせて更新されています。 必要なアクション: このアップデートではアクションは不要です。
E-Mail フォーマットの検証	<i>ScholarOne Manuscripts</i> は、より厳密な E-Mail アドレススキーマに移行し、発信 E-Mail 処理の信頼性を高め、すべてのユーザーに配信できるようにします。 必要なアクション: このアップデートではアクションは不要です。
助成機関レポート	<i>ScholarOne Manuscripts</i> では、v4.20 リリースに合わせて助成機関データ向けに 2 つの新しいレポート機能の提供も開始します。これには、雑誌ポートフォリオ全体で助成機関データを集約する新しい発行者レベルのレポートと、各雑誌内で詳細な助成機関データを収集する Cognos の複数の新しい助成機関関連フィールドが含まれます。 必要なアクション: このアップデートではアクションは不要です。
ディープリンク E-Mail 応答の確認	Barracuda など、ネットワークセキュリティ サービスにより発生する問題を解決するため、<i>ScholarOne Manuscripts</i> では、雑誌サイトにリダイレクトされるときに、ディープリンク経由の応答を確認するようにユーザーに求めます。 必要なアクション: このアップデートではアクションは不要です。

新しいログインページ

[ログイン] ページには、新しい UI 処理と操作性の改善が盛り込まれています。以下の変更が含まれます。

1. サイトが必要な場合、雑誌選択ドロップダウンが[ログイン] ボタンの上に移動します。
2. ユーザーが入力内容を確認できるように、パスワードフィールドに新しいツールが追加されます。
3. [確定] ボタンを押すと、[ログイン] ボタンがトリガーされ、マウスなしでも簡単にログインできます。
4. [パスワードのリセット] および[アカウントの作成] に新しいコンテキストリンクが追加されます。
5. [新しいリンク] ボックスのリンクがより詳細になり、[雑誌ホーム] のラベルは最大 40 文字を使用して設定可能になりました。
6. 右側全体を雑誌の説明文に使用できます。
 - 備考: “アカウントの作成” および “パスワードのリセット” は、ユーザーがこれらのアクションのリンクを簡単に手順に追加できるように追加されたシンプルなショートカットです。その他の番号（2、3 など）は有効に解決されません。
7. 複数のアラート、通知およびエラーメッセージに使用する新しいデザイン。
 - 備考: パスワードを変更したときに表示される新しい成功メッセージは、ログイン後に [アカウントの編集] を使用したときではなく、[パスワードのリセット] プロセスの後にのみ表示されます。

ログインページの例

E-Mail 入力ボックスが該当するページに移動されました。これにより、エラー処理やセキュリティが向上します。

ScholarOne Manuscripts™

日本語 ▼ 投稿決定・各種書類 ヘルプ

THOMSON REUTERS™

ログイン パスワードのリセット アカウントを作成

実行用環境ではありません

通知このサイトは、現在構成中です。投稿は削除されます。

ログイン

ユーザーID

パスワード

パスワードのリセット

ログイン アカウントを作成

リンク

- チュートリアル
- 雑誌ホーム
- ヘルプ/サイトサポート

Welcome to the submission site for
SIM Super Journal Master

To begin, [create an account](#). It only takes a few minutes.

If you are unsure about whether or not you have an account, or have forgotten your password, go to the [Reset Password](#) screen.

SCHOLARONE™

THOMSON REUTERS™

© Thomson Reuters | © ScholarOne, Inc., 2016. All Rights Reserved.
ScholarOne Manuscripts および ScholarOne は ScholarOne, Inc. の商標です。
ScholarOne Manuscripts 米国特許 7,257,767 と 7,263,656 号

v4.20 リリースノート

パスワード表示ツール

パスワード右側の目のマークをクリックすると、ユーザーは入力した内容を表示できます。

パスワード

.....

👁

[パスワードのリセット](#)

パスワード

password123

🔒

[パスワードのリセット](#)

ログイン時のメッセージおよびエラーの例

別の選択肢を推奨していただき、ありがとうございます。

🔪 通知:このサイトは、現在構成中です。投稿は削除されます。

🔒 インアクティブであったため、セキュリティ上の理由でログアウトしました。

📢 重要なメッセージ

Value at Develop Center > Update Special Login Page Instructions

⚠ このサイトをポップアップブロッカーの例外リストに追加してください

このサイトのポップアップをブロックすると、ピアレビューに関連する E-mail が送信されないことがあります。

[ポップアップブロッカーの無効化についての詳細](#)

新しい[パスワードのリセット] ページ

[パスワードのリセット] プロセスの新しいページは、新しいデザインで、わかりやすい説明文と改善されたエラー検証を基に作成されています。ユーザーが新しいパスワードを作成する場合のパスワード要件の指示内容がわかりやすくなっています。また、送信前に入力した内容を確認する新しいパスワードツールのオプションを選択できます。

パスワードをリセットする最初の画面

E-Mail 入力ボックスが該当するページに移動されました。これにより、エラー処理やセキュリティが向上します。

ログイン **パスワードのリセット** アカウントを作成

発行用環境ではありません

通知: このサイトは、現在構成中です。投稿は削除されます。

パスワードのリセット

* = 必須フィールド

* このサイトでの E-mail アドレス 1

email@example.com

キャンセル リセットの送信リンク >

パスワードのリセットの確認

通知: このサイトは、現在構成中です。投稿は削除されます。

パスワードのリセット

✉ E-mail に手順が記載されていますので、ご確認ください。

入力した E-mail が登録されたアカウントと一致すると、手順が直ちに送信されます。

15 分以内に手順の E-mail を受信しない場合、スパム/ジヤunkフォルダーを確認してください。

ヘルプが必要ですか? [サポート](#) にご連絡ください。

新しいパスワードの作成

Log In Reset Password Create An Account

Create New Password

Password Requirements:

- Cannot be a recently used password
- Cannot be the same as your username
- Minimum of {Value} characters
- Minimum of 2 numbers
- Minimum of 1 letter (*Upper or lower case*)

* = Required Fields

* New Password

* Re-type New Password

Passwords do not match

Cancel Submit & Go to Log In Page

パスワード表示ツール

パスワード右側の目のマークをクリックすると、ユーザーは入力した内容を表示できます。

* New Password

* New Password

新しい間隙ページ

ユーザーがE-Mailのディープリンクからサイトを訪問すると、新しいデザインを使用した画面が表示されます。これらの画面は「間隙」と呼ばれ、通常は重要な情報や確認メッセージをユーザーに提供するため、サイトでの中間ステップとして表示されます。一般に、これらの画面はユーザーが論文の査読依頼に応答するときに表示されます。



不完全なプロフィールを防止する新機能

ログイン後、プロフィールを更新する必要がある場合、アラートではなく新しい画面が表示されます。この画面には、プロフィールに必要なすべての変更の詳細が表示されます。



v4.20 リリースノート

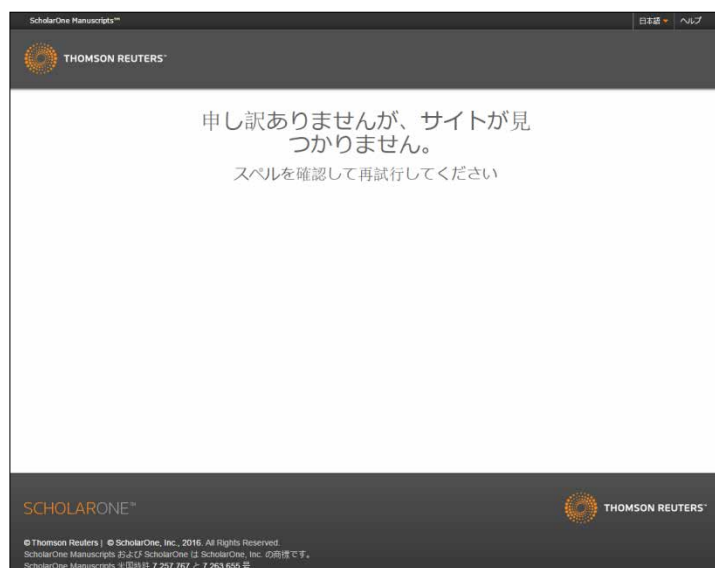
IMG タグのアクティブ化された新しい HTML 属性

[ログイン]、[ホーム]、および [著者ダッシュボード] ページ/サブページなどの新しい手順エリアでは、画像に以下の追加 HTML 属性が使用できるようになり、コンテンツのフォーマットが容易になります。

- Width
- Height
- Alt (アクセシビリティを強化します)
- Align (テキストを画像の周辺で調整できます)

新しい [申し訳ありませんが、 サイトが見つかりません。] ページ

ユーザーが存在しない雑誌のアドレスを入力（またはミス入力）した場合、新しい [申し訳ありませんが、サイトが見つかりません。] ページが表示されます。これまでユーザーは ScholarOne の企業 Web サイトへリダイレクトされるため、混乱を生じ、目的サイトの検索を難しくしていました。



パンくず背景の更新

パンくず背景が、タブと区別されています。

従来



4.20



中国でのサイト強化

中国ではユーザーのパフォーマンスが低く、読み込みに時間が掛かるという不満が、クライアントから提起されていました。インターネットインフラストラクチャおよびポリシーは世界各地で異なり、このような問題は ScholarOne に限ったことではありませんが、頻繁に喚起されるこの問題を解決すべく取り組みました。

この問題を緩和するため、中国国内で高速のインターネット配信を実現するネットワークへのアクセスを可能にしました。この高速パスを利用するには、中国のユーザーは新しい URL を使用して雑誌にアクセスする必要があります。ただし、新しいウェブアドレスが別のサイトを意味するものではありません。新しい URL は、通信の配信のみに影響します。どちらのアドレスを使用しても、ユーザーには、同じサイトとデータが表示されます。



中国のユーザーをこの高速オプションに誘導するため、ScholarOne Manuscripts には、ログインの前にモダル通知が含まれています。中国内のユーザーがサイトにアクセスしていることをシステムが検知すると、アラートメッセージが表示され、高速 URL へのリンクが提供されます。今後の閲覧時には自動的にリダイレクトされるように、ユーザー設定を保存するオプションも使用できます。通知とリダイレクトは、ログインの前に実施されますが、ディープリンクからサイト機能にアクセスするユーザーは、ログインするまで高速サイトへ移動されません。中国でのサイト高速化は、v4.20 リリース後すぐに、すべての SIM サイトにロールアウトされます。

編集者向けの会話ツール

今日の発行環境では、編集者間のコラボレーションが必須ですが、ピアレビュー プロセスの構造化マイルストーンには必ずしも確実に適合するわけではありません。委員会の編集割り当てを設定する、潜在的な利益の競合について検討する、信頼できる同僚にセカンドオピニオンを求める場合など、雑誌スタッフの大きなグループで、通常の作業フロー外で論文を検討する必要性が生じることがあります。このような必要性に対応するため、ScholarOne Manuscripts では、パイロット機能として編集者チーム全体で投稿に関する会話とコラボレーションを容易にする新しいツールが導入されます。

パイロット期間は、 v 4.20 リリースの直後から約 2 か月間となります。50 の雑誌がこのツールに適用され、その価値と制約に関するフィードバックを提供します。パイロット期間が終了したら、この会話ツールを ScholarOne Manuscripts のすべての雑誌で利用できるようにします。この機能のフルロールアウトは、2017 年 2 月に予定されています。

会話の役割と許可

会話ツールへのアクセスは、管理者および編集者の役割タイプのみで制限されます。これら 2 つの役割タイプ内の固有の各役割には、異なる許可権限が割り当てられる場合があります。可能な許可権限は以下のとおりです。

- **会話を開始して閉じる/再び開く** – この許可権限を持つユーザーは、自身がアクセスできる論文で新しい会話を開始できるだけでなく、自分が始めた会話以外でも参加者を追加できます。また、アクティブな会話を終了し、必要な場合は、終了した会話を再び開くことができます。さらに、会話グループを作成することもできます（後述）。
- **会話に参加** – この許可を持つユーザーは、各会話への資格を有する参加者として表示されます。会話の開始者から参加を要請された場合、論文へのアクセスが認められ、意見が求められた各会話へコメントを掲載する許可が与えられます（このツールは、1 つの論文で複数の会話と異なる参加者をサポートします）。
- **なし** – ユーザーは、いずれの会話も表示されないか、参加が許可されません。これは、デフォルトの許可レベルとなります。

会話タブと会話の開始

論文に関するすべての会話と会話管理機能は、[論文詳細] ページの新しいタブに含まれています。新しい左側の [会話] というタブでは、ユーザーの会話許可および/またはユーザーの会話への参加者資格に基づいて、動的に生成が実行されます。

- 会話許可を持たないユーザーには会話タブは表示されず、このようなユーザーはいずれの会話も表示されないか、会話に参加できません。
- **会話を開始して閉じる/再び開く** 許可を持つユーザーには、アクセスが認められたすべての論文で [会話] タブが表示されます。このタブから、会話を開始し、参加者へ要請し、会話グループを作成し、終了した会話を閉じることができます。

- **会話に参加許可を持つユーザーは、コメントの提供を要請された論文で [[会話] タブが表示されます。** 論文に複数の会話が含まれる場合、ユーザーには、要請された会話のみが表示されます。**メモ: 編集者からのコメントが要請されると、この編集者には、紙ベースの場合と同じように、すべての論文ファイルおよびメタデータへのアクセスが認められます。** これらの論文は、編集者が実行する検索にも表示されます。ただし、編集者は論文タスクを完了することはできません。
- **備考:** プロキシモードのユーザーは、許可権限に関係なく、[会話] タブを表示できません。

この例（右側）では、[開始して閉じる/再び開く] 許可を持つユーザーの新しい会話タブを示します。以下のセクション [参加者] は、会話の開始者のみ表示されます。このセクションは、会話を開いたり閉じたりするときや、参加者に依頼や通知を行うときに使用します。この例では、会話アクティビティの前に論文が表示されます。



会話を開始するには、[会話] テーブルのヘッダーにある [会話の追加] ボタンをクリックします。このボタンをクリックすると、テキスト領域が開き、ユーザーは、会話のタイトルを入力して保存できます。左側には、「aa」という会話を作成されています。[ステータス] 列の開いた鍵のアイコンは、会話が開いた状態であることを示します。[操作] 列の [ロック] ボタンをクリックすると、以降のコメントには会話が閉じられます。

会話を作成したら、タイトルをダブルクリックすると、会話のタイトルを編集できます。登録済みの会話は削除できません。

v4.20 リリースノート

会話を開始すると、ユーザーは、会話の[参加者]テーブルに該当する名前を追加して参加者を招待できます。会話の開始者と、適切な認証を持つ割り当てられた編集者/管理者が、会話の作成時に自動的に追加されます。参加する必要がなくなった参加者は、削除列の赤いアイコンをクリックして削除できます。参加者を追加するには、まず[参加者]セクションの一番下にある選択領域で必要な参加者を見つける必要があります。このセクションには、[会話に参加する]許可を持つすべてのユーザーが表示されます。論文でユーザーを非表示にした場合、このステータスが[非表示]列に示され、このユーザーの招待はブロックされます。会話の開始者が参加者を素早く見つけ出せるように、[名前]列でアクティブフィルターが使用できるようになりました。他のユーザー名の一部を入力すると、一致する結果をリアルタイムで動的にフィルタリングできます。ヘッダーの[表示]メニューでは、リストをグループごとに簡単にフィルタリングできます（以下の「グループ」を参照）。

The screenshot shows the '参加者' (Participants) section. It includes a table for '参加者の目的' (Participant Purpose) and a list of users for selection.

名前	通知	最終通知	削除
adikesavan, g...	☐	2016-10-31 02:12:...	
admin, qtp	☐	2016-10-31 02:12:...	

名前 (フィルター)	E-Mail アドレス	非表示	現在使用可能?
☐ Jovan, Jovan	jovan.jovan@thomsonreuter...		
☐ Venugopal, Yuvaraj	yuvaraj.v@thomsonreuter...		
☐ Visokay, Alison	alison.visokay@thomsonr...		
☐ Wang, Yan	yan.wang01@thomsonreu...		
☐ Warwick, Marylou	marylou.warwick@thomso...		
☐ Watkins, William (Bill)	bill.watkins@thomsonreut...		
☐ Wilson, Steve	stephen.a.wilson@thomso...		
☒ Yang, Lei	yanglei06@beyondsoft.com	非表示	
☐ Yata, Toshifumi	toshifumi.yata@thomsonr...		
☐ Zegarac, Dusica	dusica.zegarac@thomsonr...		
☐ Zhao, Xiaodan	xiaodan.zhao@thomsonre...		

必要な参加者が見つかったら、ユーザーは、選択領域でその名前の横にあるボックスをチェックして[選択した参加者を招待する]ボタンをクリックするか、レコードを会話の[参加者]テーブルにドラッグ&ドロップして、参加者を会話の[参加者]テーブルに移動します。追加された参加者は、[投稿]タブを使用して、すぐに会話へアクセスできます。

不要な煩わしいE-Mail通知を避けるため、参加者には会話への要請が自動的に通知されることはありません。会話の開始者は、ツールを使用して、通知を簡単に管理できます。参加者を最初に追加すると、[通知]列はデフォルトでチェックされています。リストが完成したら、ユーザーは、[選択した参加者への通知]ボタンをクリックして、E-Mail通知を送信できます。会話の開始者がフォローアッ

The screenshot shows the '参加者の目的' (Participant Purpose) table. It includes a table for '参加者の目的' and a list of users for selection.

名前	通知	最終通知	削除
adikesavan, g...	☒	2016-10-31 02:12:...	
admin, qtp	☒	2016-10-31 02:12:...	

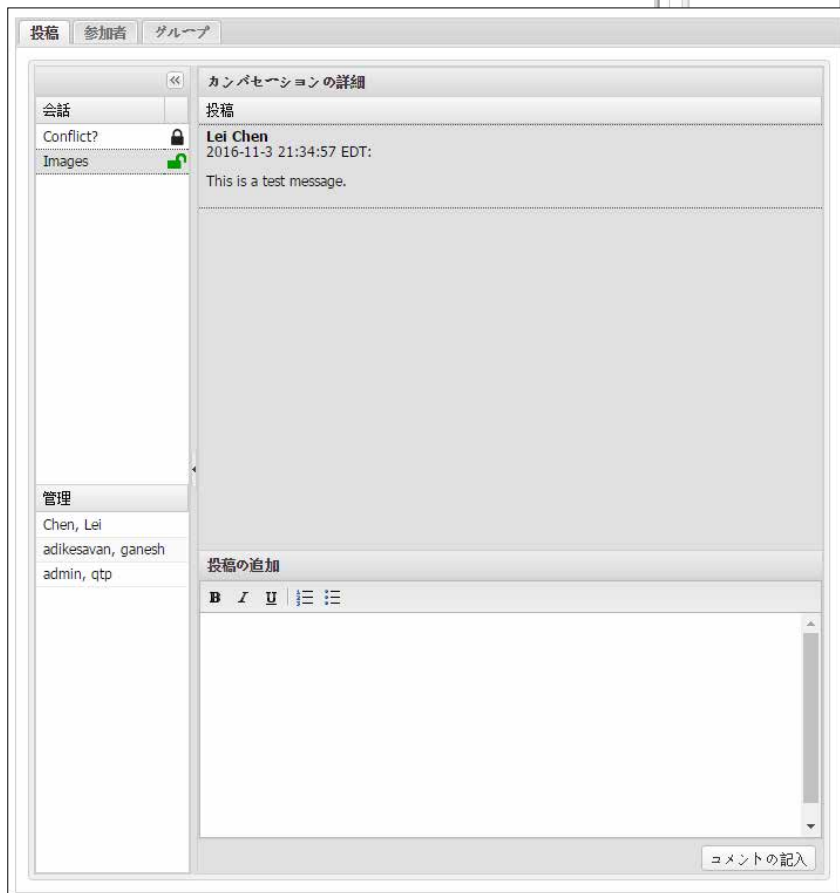
The screenshot shows the '参加者の目的' (Participant Purpose) table. It includes a table for '参加者の目的' and a list of users for selection.

名前	通知	最終通知	削除
adikesavan, g...	☐	2016-10-31 02:12:...	
admin, qtp	☐	2016-10-31 02:12:...	

v4.20 リリースノート

ブ通知の送信は一部の参加者のみで十分だと判断した場合、該当する参加者の [通知] ボックスを再チェックし、通知ボタンをもう一度クリックします。会話の [参加者] テーブルでは、各参加者の最後の通知が追跡されるため、ユーザーは、参加者を追加した後、別途に通知した場合でも、フォローアップ通知に関する詳細な決定を下すことができます。

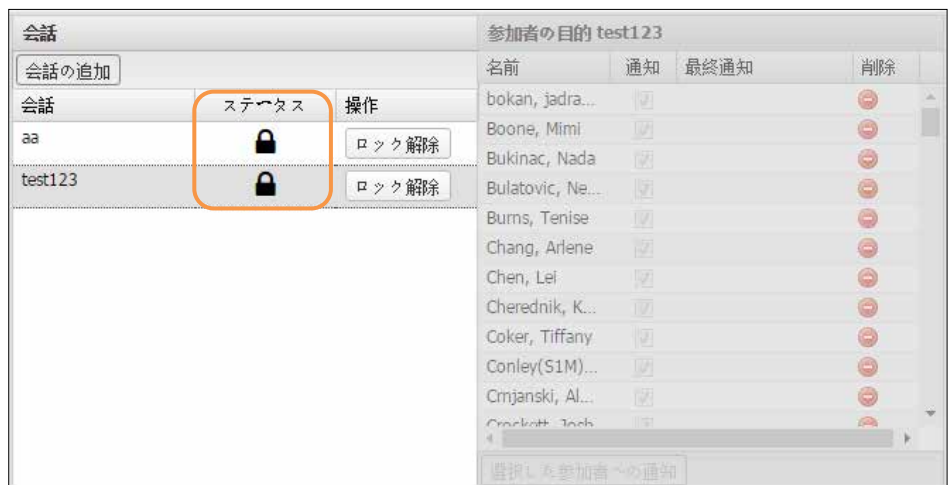
参加者に会話への要請を通知する場合、新しい E-Mail テンプレートを利用できます。また、会話を容易にするため、2つの新しい E-Mail タグが作成されました。##CONVERSATION_TITLE## は関連する会話のタイトルを解決し、##JOIN_CONVERSATION## は該当する会話タブへのディープリンクです。



会話の開始 / 管理許可を持つユーザーには [会話] タブが表示されますが、参加だけを認証されたユーザーには [投稿] のセクションのみが表示されます。以下の例では、編集者 Ian Stokes が、この論文に関する2つの会話への参加を要請されています。1つは「画像」というタイトルで、現在表示されています（グレーの強調表示）。もう1つは「矛盾？」というタイトルで、クリックするだけで切り替えられます。選択した会話のすべての参加者は、すぐ下に一覧表示され、右側では実際に会話を行うことができます。コメントは、経時順に並べられます。テキストエディタは、主な HTML コマンド **bold**（太字）、*italics*（斜体）、underline（下線）および自動リスト（数字および箇条書き）をサポートします。

左側の [会話] 列は、参加者の作業スペースを増やせるように縮小可能です。

終了後の会話は、参加者に表示できますが、追加のコメントは許可されません。

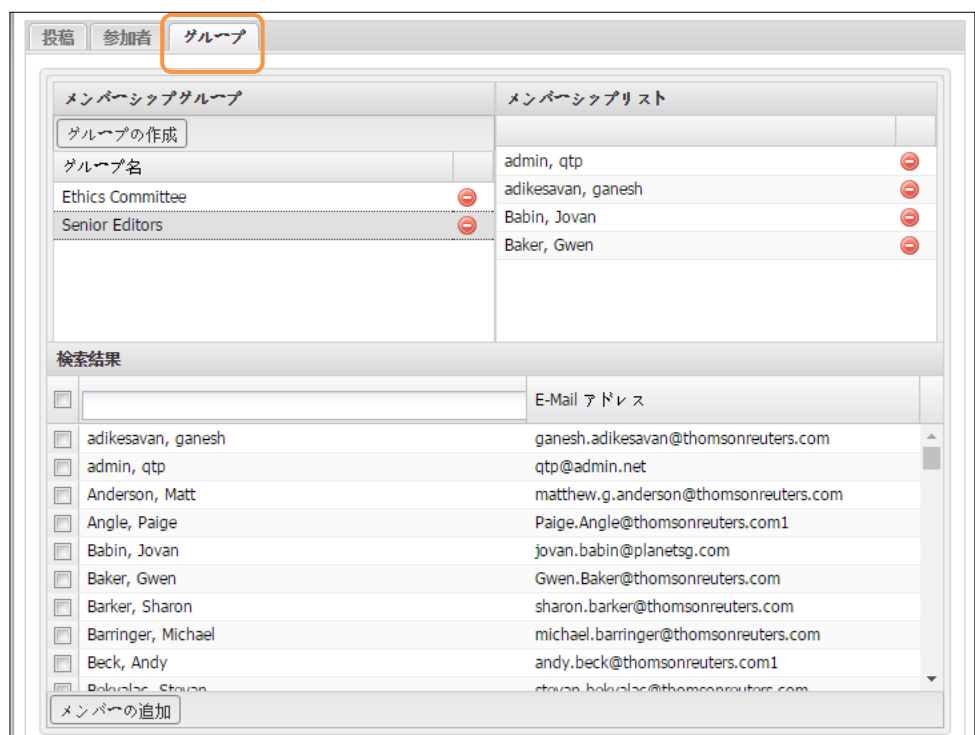


会話グループ

会話機能のデザインプロセスを始めたときに、解決が必要な使用事例の多くで、異なる論文で定期的に会話を行う共通の編集者グループが必要であることを認識しました。たとえば、6～7人の上席編集者が優先順位を設定し、すべての論文の割り当てを実行し、それを管理者チェックリストや10人の委員会へ送り、あらゆる盗用の事例を検討しているとします。これらのグループが会話を必要とする頻度を考えると、会話の開始者が、基本的な会話を始めるときに、すべての参加者リストを検索できると大変便利です。会話グループを設定します。[会話]

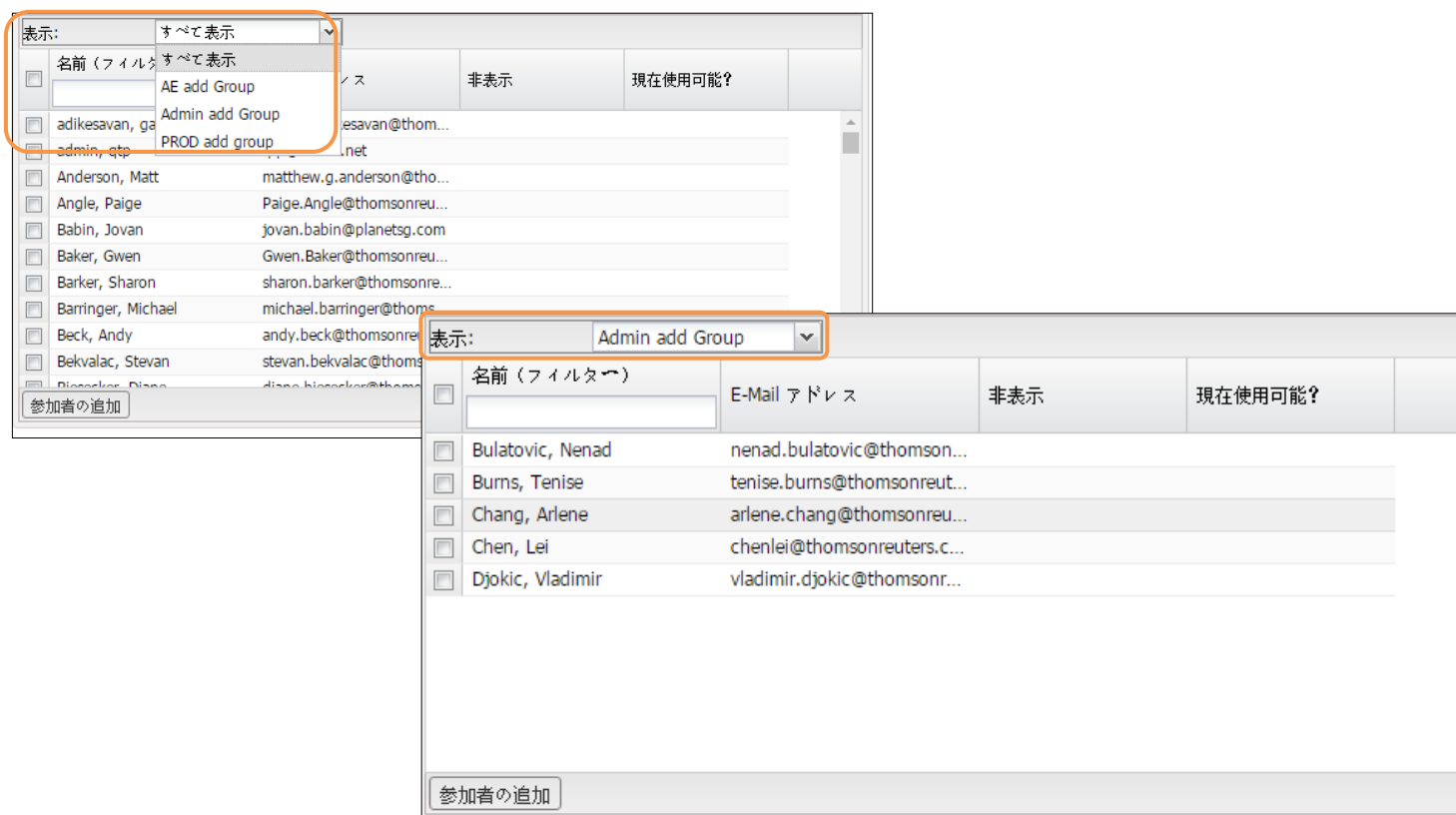
タブの3番目にある [グループ] セクションでは、開始および管理許可を持つすべてのユーザーが、そのサイトでカスタムの永続的会話グループを作成できます。作成した会話グループは、論文に関する会話を開始するすべてのユーザーが利用できます。

グループ管理は、会話管理とほぼ同じプロセスで機能します。新しいグループを追加するには、[メンバーシップグループ] テーブルのヘッダーにある [グループの作成] ボタンをクリックします。このボタンをクリックすると、テキスト領域が開き、ユーザーは、グループのタイトルを入力して保存できます。右側には、作成済みの3つのグループ「AE add Group」、「Admin add Group」と「PROD add Group」が表示



されます。グループタイトル右側の赤白ボタンは、グループの削除に使用します。既存のグループのタイトルは、ダブルクリックで編集できます。この例では、グループ「AE add Group」が選択中で、グレーで強調表示されます。ここで、ユーザーは、会話に参加者を追加するときと同じ手順で、下のテーブルから選択したメンバーを[メンバーシップリスト]に移動して、グループにメンバーを追加できます。各メンバーは、名前の横にある赤白ボタンをクリックするとグループから削除できます。

このサイトの既存のグループは、[参加者] タブの [表示] ドロップダウンに表示され、ユーザーは、参加者のフルリストを簡単にグループメンバーだけにフィルタリングして会話に一括で追加できます。



会話待ちリスト、[作業を行う] ドロップダウン、および修正

アクティブな会話がある編集者は、[編集者ダッシュボード] の新しい待ちリストを使って会話をモニターすることができます。この待ちリストには、編集者が1つ以上のアクティブな会話を持つ合計論文数が表示されます。クリックすると、論文リストと、ユーザーを [会話] タブに誘導する [作業を行う] リンクがそれぞれ待ちリストに表示されます。

- 0 転送論文の著者承認待ち
 - 0 転送論文 (著者を含む)
 - 投稿取り消し済みの議定論文**
 - 0 他誌からの転送論文
 - 著者に返却された論文**
 - 2 差し戻し/未投稿論文
 - 会話**
 - 6 アクティブなカンパセションを記載した論文
- 管理者 ツール

v4.20 リリースノート

さらに使いやすくするため、管理者には、論文検索結果内の [作業を行う] ドロップダウンから [会話] タブへのリンクが表示されます。編集者の [作業を行う] ボタンも、ワークフロータスクへリンクされます。

WRK4-2016-0021	To TYY [論文を見る]	2016-9-30	副編集者: 未定 編集長: 未定 管理者: 未定	選択... 選択... 詳細の表示 論文ファイルの表示 査読履歴の表示 カンパセーション 管理者チェックリスト
編集者宛て書面	Yang, Lei (代理操作)		* チェックリストの完了 (期限 2016-10-30)	
CSV 形式でエクスポート				

会話は、論文の各バージョンごとに固有であり、修正や再提出には及びません。以前のバージョンの会話への参加者は、以前のバージョンをプルアップすることで、そのコメントにアクセスできます。

サポートされるブラウザ、オペレーティングシステムおよび国リストの更新

毎年、ScholarOne では、最大数のユーザーとクライアントに最高のエクスペリエンスを提供するために最も一般的に使用されたブラウザとオペレーティングシステムを報告する Web 統計データを見直しています。この情報を基に、今後の製品方向性に対応するため、最高レベルのサポートを受けるブラウザとオペレーティングシステムを判断します。判断基準には、徹底した QA テスト、わかりやすく使いやすいコンテンツ、コンテンツ表示に関する最小限の変化、フルスタイルのページ表示、およびすべての機能の動作性が含まれます。v4.20 リリースでは、最高レベルのサポートは以下に提供されます。

オペレーティングシステム	ブラウザ
Windows	Internet Explorer 9
	Internet Explorer 10
	Internet Explorer 11
	Firefox 46
	Chrome 50
Mac OS X	Firefox 46
	Chrome 50
	Safari 9

E-MAIL アドレスフォーマットの検証

ScholarOne Manuscripts は、Facebook や Gmail で使用されているのと同様のより保守的な E-Mail アドレススキーマに移行し、発信 E-Mail 処理の信頼性を高め、すべてのユーザーに配信できるようにします。4.20 リリースで、ScholarOne サイトは、このスキーマに対してすべての E-Mail アドレスを検証し、共通のフォーマット標準に適合することを確認します。入力した E-Mail アドレスがこの検証に不合格になると、ユーザーにはアラートが表示され、機能的な E-Mail アドレスを入力するように求められます。

V4.20 の E-MAIL フォーマット要件

E-Mail アドレスは、ローカルとドメインの 2 つの部分に分かれ、各部分は @ 記号で区切られる必要があります。全体の長さは 256 文字を超えることができません。

許可される文字

ローカル

ASCII 印刷可能文字

- 英文字（大文字/小文字）
- 数字 0 ~ 9
- 特殊文字 ! # \$ % & ' * - / = ? ^ _ ` { | } ~
- 点 (.) - アドレスの開始または終了には不可、連続使用も不可
- プラス記号 (+) - アドレスのローカル部分をプラス記号だけにすることはできません。

ドメイン

ASCII 印刷可能文字

- 英文字（大文字/小文字）
- 数字 0 ~ 9
- 点 (.) - アドレスの開始または終了は除外、2 つ以上の連続使用は不可
- ハイフン (-) - アドレスの開始または終了には不可、連続使用も不可

許可されない文字

拡張 ASCII - Š Œ Ž š œ ž Ÿ À Á Â Ã Ä Å Æ Ç È É Ê Ë Ì Í Î Ï Ð Ñ Ò Ó Ô Õ Ö Ø Ù Ú Û Ü
Ý Þ ß à á â ã ä å æ ç è é ê ë ì í î ï ð ñ ò ó ô õ ö ø ù ú û ü ý þ ÿ

ScholarOne Manuscripts は、E-Mail 配信の問題をプロアクティブにユーザーに警告するため、手動で E-Mail メッセージを送信する前にアドレスフォーマットを検証します。検証標準を満たさないアドレスの E-Mail を送信しようとしたユーザーには、アラートが出力され、修正を求められます。このような検証には、E-Mail テンプレートが含まれ、アドレスフィールドに使用された E-Mail タグが実際に E-Mail アドレスを解決することが確認されます。雑誌がこのプロセスを管理しやすいように、すべての E-Mail テンプレートのリストとすべての検証失敗の的確な位置を含む .csv ファイルをエクスポートする新しいツールを開発しました。

E-Mail フォーマットをより厳密に検証することで、ScholarOne から送信される E-Mail の配信不能数を削減するだけでなく、E-Mail が意図した受信者に届く最大限の可能性を保証することで、雑誌が効果的にコミュニケーションを実行できるようにします。

V4.20 での E-MAIL「共通名」の変更

今年の 6 月に、ScholarOne Manuscripts には、S1 E-Mail の共通名フィールドのサポートが追加されました。メールクライアントのサポートでは、E-Mail アドレスの代わりに「共通名」が表示されます。共通名が最初にリリースされたとき、雑誌の名前を表示することを目的としていました。たとえば、ScholarOne から送信される E-Mail のアドレスは以下ようになります。

onbehalfof+Jane.Smith@example.com@manuscriptcentral.com

この E-Mail を受信したら、受信者の受信箱に「**雑誌サンプル**」からであることが表示されます。クライアントのフィードバックに基づいて、共通名フィールドに、雑誌の名称ではなく、該当する S1 カウントに対応する送信者の姓名を表示するように変更されます。これにより、受信者は送信者の身元を確認しやすくなります。この機能は、雑誌名から送信者の身元を確認できない雑誌間コミュニケーションでは特に重要です。ユーザーアカウントから送信されないシステム E-Mail は、雑誌が共通名のままになります。

備考: 共通名フィールドの「雑誌名」を「送信者名」に変更する雑誌サイトの移行は、v4.20 リリースの直後に予定されていますが、段階的に実行されます。移行スケジュールの詳細は、後日お知らせします。

助成機関レポート

ScholarOne Manuscript では、v4.20 リリースに合わせて、助成機関データに関連する 2 つの新しいレポート機能の提供も開始します。

助成機関発行者レベルレポート

1 つ目の新しい発行者レベルのレポートは、発行者全体のポートフォリオや雑誌のカスタムグループで投稿の集計統計情報を表示します。

この新しいレポートは、[助成機関] という名前で [発行者レポート] ダッシュボードにあります。ユーザーは、このレポートにより、選択した期間中に投稿された論文について、認知されたすべての助成機関の集約リストを確認できます。最新のデータと精度を維持するため、助成機関データは常に、利用可能な最新バージョンから取得されます。[助成機関] レポートには、以下が表示されます。

- 助成機関名 - 投稿時に著者が提供した助成機関名。助成機関が認知されていない投稿には、<none> (なし) のラベルが列に示されます。
- 助成機関 DOI - Open Funder Registry (旧 FundRef) から選択した助成機関は、DOI にリンクされます。これは、[助成機関 DOI] 列に表示されます。Open Funder Registry にリンクされていない助成機関の場合、このフィールドは空白となります。
- 最終親組織 - Open Funder Registry では、助成機関の間で階層的関係を維持します。この列には、[助成機関] 列で最高レベルの親となる助成機関が表示されます。親組織を持たない助成機関は、[助成機関] と [最終親組織] の両方が表示されます。Open Funder Registry にリンクされていない助成機関の場合、このフィールドは空白となります。
- 最終親 DOI - 最終親組織の DOI。Open Funder Registry にリンクされていない助成機関の場合、このフィールドは空白となります。
- 助成された投稿 - リストされた助成機関を含む投稿数。

Funders				
Filtered on: Geographic Region > North America; Europe				
Filtered on: Open Access (Y/N) > No				
Submissions Included: Original, Revisions				
Date Submitted: Earliest to Latest				
Funder Name	Funder DOI	Ultimate Parent Organization	Ultimate Parent DOI	Submissions Funded
National Institutes of Health	http://dx.doi.org/10.13039/100000016	National Institutes of Health	http://dx.doi.org/10.13039/100000016	84
National Cancer Institute	http://dx.doi.org/10.13039/100000017	National Institutes of Health	http://dx.doi.org/10.13039/100000016	23
NIH Clinical Center	http://dx.doi.org/10.13039/100000018	National Institutes of Health	http://dx.doi.org/10.13039/100000016	43
National Center for Research Resources	http://dx.doi.org/10.13039/100000019	National Institutes of Health	http://dx.doi.org/10.13039/100000016	54
National Eye Institute	http://dx.doi.org/10.13039/100000020	National Institutes of Health	http://dx.doi.org/10.13039/100000016	23
National Human Genome Institute	http://dx.doi.org/10.13039/100000021	National Institutes of Health	http://dx.doi.org/10.13039/100000016	12
National Institute for Child Health and Human Development	http://dx.doi.org/10.13039/100000022	National Institutes of Health	http://dx.doi.org/10.13039/100000016	43
NIH Office of the Director	http://dx.doi.org/10.13039/100000023	National Institutes of Health	http://dx.doi.org/10.13039/100000016	54
National Heart, Lung, and Blood Institute	http://dx.doi.org/10.13039/100000024	National Institutes of Health	http://dx.doi.org/10.13039/100000016	23
National Institute Biomedical Imaging and Bioengineering	http://dx.doi.org/10.13039/100000025	National Institutes of Health	http://dx.doi.org/10.13039/100000016	65
National Center on Minority Health and Health Disparities	http://dx.doi.org/10.13039/100000026	National Institutes of Health	http://dx.doi.org/10.13039/100000016	54
National Center for Advancing Translational Science	http://dx.doi.org/10.13039/100000027	National Institutes of Health	http://dx.doi.org/10.13039/100000016	34
National Institute for Allergy and Infectious Disease	http://dx.doi.org/10.13039/100000028	National Institutes of Health	http://dx.doi.org/10.13039/100000016	34
Wellcome Trust	http://dx.doi.org/10.13039/100000029	Wellcome Trust	http://dx.doi.org/10.13039/100000017	65
Office of Cchemistry	http://dx.doi.org/10.13039/100000030	National Science Foundation	http://dx.doi.org/10.13039/100000018	45
Division of Emerging Frontiers	http://dx.doi.org/10.13039/100000031	National Science Foundation	http://dx.doi.org/10.13039/100000019	76
Division of Environmental Biology	http://dx.doi.org/10.13039/100000032	National Science Foundation	http://dx.doi.org/10.13039/100000020	67
Howard Hughes Medical Institute	http://dx.doi.org/10.13039/100000033	Howard Hughes Medical Institute	http://dx.doi.org/10.13039/100000021	34
Robert Wood Johnson Foundation	http://dx.doi.org/10.13039/100000034	Robert Wood Johnson Foundation	http://dx.doi.org/10.13039/100000022	45
Ames Research Center	http://dx.doi.org/10.13039/100000035	National Aeronautics and Space Administration	http://dx.doi.org/10.13039/100000023	45
Langley Research Center	http://dx.doi.org/10.13039/100000036	National Aeronautics and Space Administration	http://dx.doi.org/10.13039/100000024	56

一次レポートに集計された各助成機関はリンクとして表示されます。このリンクをクリックすると、サブレポートの基本データを表示できます。たとえば、右側のレポートには、NIHの一部である助成機関「National Center for Advancing Translational Science」の基本雑誌レベルデータが表示されます。

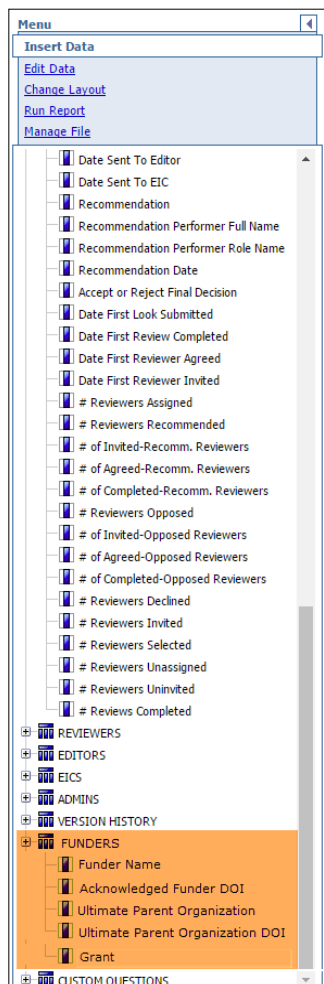
Funders > National Institutes of Health > National Center for Advancing Translational Science	
Filtered on: Geographic Region > North America; Europe	
Filtered on: Open Access (Y/N) > No	
Submissions Included: Original, Revisions	
Date Submitted: Earliest to Latest	
	Submissions Funded
Journal A	9
Journal B	25
All	34

雑誌レポート向けの臨時助成機関フィールド

ScholarOne Manuscript では、Congon レポートプラットフォームにいくつかの新しい助成機関フィールドが追加されます。これらの新しいフィールドは、ヘッダー「助成機関」の下にグループ分けされた [臨時ピアレビュー詳細] レポートパッケージに表示されます。これらのフィールドには、以下が含まれます。

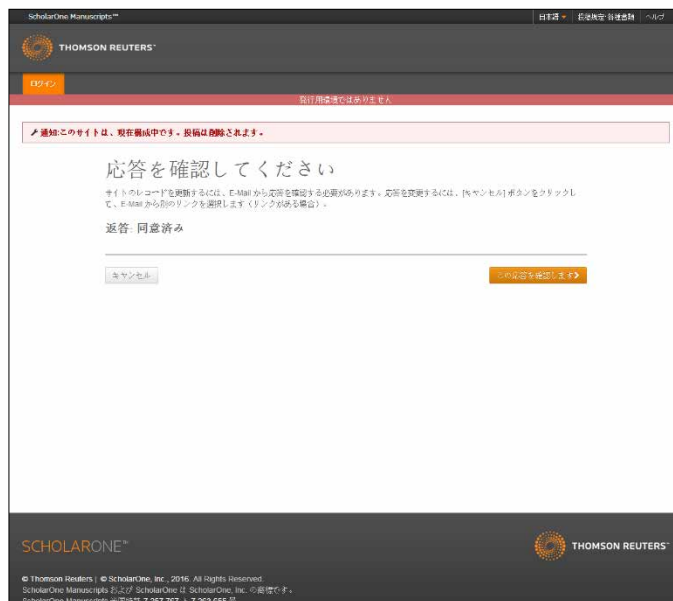
- 助成機関名 – 投稿時に提供された助成機関名。
- 助成機関 DOI – Open Funder Registry で認知された助成機関の一意の識別子。
- 最終親組織 – Open Funder Registry で認知された助成機関の最高レベル組織となります。
- 最終親 DOI – Open Funder Registry に含まれる最終親組織の一意の識別子。
- 奨学金番号 – 助成機関における所定の奨学金を識別する一意の数字

複数の助成機関および/または奨学金を持つ論文は、1 つの論文を含むカスタム質問と同様に表示され、レポートに関連するデータを表示する複数の行が作成されます。



ディープリンク E-MAIL 応答の確認

今年の初め、ScholarOne では、*Barracuda* などのネットワークセキュリティ サービスで E-Mail に含まれるリンクをクリックことが詐欺防止プロセスの一部になっていることが、クライアントからのレポートで報告されるようになりました。これにより、ScholarOne E-Mail で頻繁に使用されるディープリンク E-Mail タグが問題となります。これらのタグは、E-Mail 受信者にハイパーリンクを解決し、受信者がリンクをクリックするだけで、雑誌に応答できるようにします。このタグの最適な例は、査読者招待 E-Mail に見られます。この場合、査読候補者は、「同意する」、「拒否する」、「対応不可」のいずれかをクリックするだけで、招待に応答できます。このようなセキュリティ製品では、E-Mail を受信したときに埋め込まれたハイパーリンクが自動的にクリックされ、ユーザーがまだ E-Mail を読んでいないのに誤った応答が発信されます。*Barracuda* との協力により、最適な解決策は、ディープリンクから利用できる新しいページで、ユーザーにその応答の確認を求めることだと結論付けました。v4.20 以前のリリースでは、ディープリンクはユーザーに、応答へのお礼を述べるページを表示するだけでした。v4.20 では、ユーザーは、このページでディープリンクの応答を確認することになります。ユーザーがその応答を確認すると、標準のお礼 E-Mail が表示されます。



この新しい確認ページにより、ScholarOne Manuscripts は、ユーザー機能を維持しながら、新しい業界手順に適応できるようになりました。

ディープリンク確認は、以下の E-Mail タグ応答リンクで使用されます。

- 招待応答
- 修正の作成リンク
- 再投稿の作成リンク
- 論文譲渡の承認リンク